

市議会2月定例会が2月4日から3月13日まで38日間の日程で開催されました。令和7年度当初予算案を中心に議論し、原案どおり可決されました。私、津和野眞佐子は、総合政策委員会と予算委員会で質問に立ち、市政全般についてたどしました。私は新人議員ながら、予算委員会の統括質疑で登壇の機会をいただき、いじめ対策の強化などについて、市長と一問一答形式で論戦を交わしました。今後とも、市政に関する皆さまのご意見やご感想などをお寄せください。

さいたま市議会議員 津和野眞佐子



令和7年度当初予算関連議案(総額1兆1,663億円)が可決されました

主な事業

まちづくり・ 市民生活・防災



- **次世代モビリティの推進**
路線バスの自動運転化に向けた実証実験を行います。
- **防犯カメラの整備拡充**
駅前広場などへの設置を加速化させ、自治会への設置を積極的に進めています。

- **「書かない窓口」の全区展開**
証明書発行などの際に書類記入などの手間を軽減する「書かない窓口」を全ての区役所に導入します。
- **体感型防災啓発事業**
南区において、水害を想定した映像や音楽による体感型防災イベントを開催します。

高齢者支援



- **安全な自転車利用の推進**
高齢者を対象とした自転車安全教室を実施し、参加者にヘルメットの購入費用2,000円を助成します。

- **高齢者の移動支援事業への補助拡大**
高齢者の買い物や通院などの外出支援事業に対する補助金の対象団体数を拡大します。

保健福祉



- **带状疱疹ワクチン接種**
65歳以上の人などへの定期接種を実施するだけでなく、対象外の50歳以上65歳未満の人にも市独自の接種制度を設けます。

- **口腔保健の推進**
歯科口腔保健の研修や障がい者歯科相談を推進するほか、さいたま市口腔保健センター（仮称）の開設に向けた基本・実施設計などを行います。

子育て支援



- **子育て世帯応援キャンペーン**
出産時にもらえる妊婦支援給付金について、デジタル地域通貨での受け取りを選択した場合に1万円相当を上乗せして支給します。
- **母子保健検診事業**
赤ちゃんの健康を切れ目なくサポートするため、生後1カ月児を対象にした健診への助成を開始します。
- **児童虐待発生予防事業の拡充**
特に支援が必要な妊婦さんへの訪問事業を実施します。

- **多胎児家庭外出支援**
双子や三つ子などの多胎児を育てる家庭が病院や買い物に行く際の負担を軽減するため、同行サービスを開始します。
- **ファミリー・サポート・センター運営事業**
多くの人に利用してもらうため、利用料金の引き下げや提供会員への助成を行います。
- **子ども・若者ワークショップ**
子どもや若者の意見を聞き、市政に反映させるためのワークショップを開催します。

総合政策委員会議案外質問より

隣接自治体の事故・災害の情報提供体制

Q 八潮市の道路陥没事故では、トラック運転手さまの一刻も早い救出と一日も早い復旧を願っています。この事故では、緑区の一部と岩槻区でも下水道使用自粛のお願いがあり、広域的な対応のあり方が問われています。隣接自治体での事故や災害がさいたま市に影響を与える場合、近隣自治体との情報共有や連携をどのように行う方針でしょうか。

Q 今回の事故では、埼玉県助産師会が行った沐浴サービスについて多くの市民に十分に情報が伝わらず、本来受けられるはずの支援が十分に行き届きませんでした。善意の支援を円滑に活用するため、情報を周知できる体制を整えるよう要望いたします。

A 危機管理部長 県内自治体や9都都市などで相互応援に関する協定を締結しています。一部の近隣自治体とは市域を越えた避難の取り組みも進めており、相互連携を行いながら市民への的確な情報提供に努めてまいります。

A 危機管理部長 ご指摘の通り、課題であると認識しております。民間団体も含めた防災関係機関との顔の見える関係性を築いていけるよう、検討してまいりたいと考えます。



予算委員会 総括質疑より

いじめ対策の強化に向けて

Q 令和5年度の全国いじめ認知件数は過去最多の73万件にのぼります。この深刻な状況を、市長はどのように受け止めていますか。

Q いじめは子どもの心身に深刻な影響を与える人権問題で、早期発見と迅速な対応が不可欠。特に近年はSNSの普及により複雑化、陰湿化しています。実際に相談できたのは一部に限られており、深刻な被害を受けても、助けを求めることができず、苦しみ続けている子どもがいます。他市では市長直轄部局がいじめ解決に関与する体制が整えられており、さいたま市でも学校の枠を超えた支援態勢を構築すべきではないでしょうか。

Q ぜひ市長には強いリーダーシップを持ち、実行に移していただきたいと強く要望いたします。

A 市長：重大事態については教育委員会から直接報告を受けています。本市においても認知件数が増加しており、長期化・深刻化する事案もあることは大変憂慮すべき事態だと考えます。

A 市長：こども家庭庁が、いじめの長期化・重大化防止や重大事態への適切な対処を推進するため、さまざまな手法の開発や実証を行っていると考えています。市としても、教育委員会から毎週のように事案の説明を受けており、いじめの深刻化防止に向けて、市長部局として早期介入・解決に導く方策を講じていく考えです。その際、国の先進事例も参考にしながら、適切な対応を進めていきます。

A 市長：私自身がリーダーシップを発揮して、しっかり対応していきたいと思っています。



予算委員会審査より

食品ロスの削減

Q 札幌市や京都市で普及を推進している「ドギーバッグ（食べ残しを持ち帰るための容器）」を、本市でも導入すべきではないかと考えます。見解をお聞かせください。

A 資源循環政策課長：持ち帰りに関する国のガイドラインが示されましたので、事業者などの取り組み状況を踏まえながら周知啓発を検討してまいります。



コミュニティバスの導入支援

Q 南区の東部地域の自治会と話し合いが進んでいると認識していますが、進捗状況と具体的な支援内容についてうかがいます。

A 交通政策課長：大谷口地区周辺がコミュニティバスのルート外となっており、区役所・武蔵浦和駅周辺への移動手段を確保してほしいと要望が上がっています。道路幅が狭い地区に適した交通手段について、地元と話をしながら検討を進めます。

Q 起伏も激しい地域でもあるので、グリーンスローモビリティ（小型電動車）も非常に効果的と考えています。ぜひ前向きに検討をお願いしたいです。今後のスケジュールや展開はどう考えていますか。

A 交通政策課長：すでに今年1月に地元との打ち合わせをしています。路線バスとの競合が課題ですが、地域アンケートの結果を分析しながら話し合いをしっかりと続けていきます。

東浦和地区の土地区画整理事業

Q 具体的にどのようなことをするのか、今後の展望を教えてください。

A まちづくり総務課長：東浦和地区の区画整備に向け、道路や公園、下水道の整備状況の調査を行うほか、消防活動が難しい場所がないかなどを確認する予定。地元への意見聴取などを行い、合意形成を丁寧に進めてまいります。

暮らしの道路整備事業

Q 昨年の予算委員会で、道路整備の際に移設されるブロック塀やフェンスなどの補償金額の見直しを要望させていただきましたが、その後どのようなになっているのか教えてください。

A 道路環境課長：物価上昇等の影響が生じていることから、4月より基礎構造物の移設補償において約1.2倍の値上げを行います。

都市計画道路・田島大牧線の歩道整備

Q 田島大牧線の太田窪工区が3月17日に4車線化。歩道の整備が少し残っていますが、整備スケジュールはどのようになっていますか。

A 道路計画課長：道路と隣接する宅地との段差が生じる箇所が多く、段差が大きいことで権利者との補償交渉に時間がかかってしまい、車道の完成に間に合いませんでした。交渉状況にもよりますが、今年6月末には完成させたいと考えています。

地域ニュース

地域の方のご自宅で大切に保管されていた《唐箕（とうみ）》が、さいたま市に寄付され、岩槻区の河合小学校に設置されました。唐箕は、風の力を利用して穀物から粉殻やごみなどを選別する農具で、かつて農作業に欠かせない存在でした。今回、地域の歴史や先人の知恵が詰まったこの貴重な宝物を、次世代へと引き継ぐお手伝いできたことを心から嬉しく思います。これからも、地域の歴史と文化を未来につないでいけるよう、みなさんと共に歩んでいきたいと願っています。



さいたま市政に関する皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。

さいたま市議会議員 津和野 眞佐子 さいたま市南区広ヶ谷戸233-4 パープルマンション1階C号室
Email:m.tsuwano@gmail.com TEL:090-8050-1182 <https://m-tsuwano.com> https://x.com/m_tsuwano



ホームページ



X